

## 令和6年度シビックプライド講座開催要項

タイトル 「岐阜和傘は岐阜のシビックプライドー和傘を未来に繋ぐ岐阜の力」

開催趣旨 和傘は岐阜市の宝物ー岐阜での和傘製産は、寛永16年(1639)、播州明石藩から美濃加納藩に移封となった戸田光重に始まり、幕末の永井家の奨励もあり、隆盛をたどりました。

明治時代になると加納町の一大産業に発展しました。最盛期は意外にも昭和25年の頃、日本中の和傘製産の25パーセント余り、年間1500万本を製産しました。しかし、昭和30年代になると、洋傘の普及により衰退しました。

生産本数の激減により、職人の数も激減していき、和傘を構成する部品として大事なロクロ製造業者は1カ所だけ、傘骨制作業者も2カ所のみとなりました。

最近、和傘の魅力を発信する若い世代が活躍し、令和4年(2022)3月18日に「岐阜和傘」は、伝統的工芸品に指定され、岐阜和傘協会として後継者育成などに取り組まれています。和傘の5年先、10年先の明るい未来を考えることが出来るのでしょうか。

伝統的工芸品指定3周年を目前にし、かつては和傘王国ともいわれた岐阜の地で和傘の未来を考えるためにシンポジウムを開催し、日本の伝統文化としての和傘、岐阜のシビックプライドとしての「岐阜和傘」をあらためて見つめ直す機会にします。

開催日時 令和6年12月1日(日)午後1時から4時

開催場所 みんなの森ぎふメディアコスモスみんなのホール

開催内容

総合司会 フリーアナウンサー 高井実枝氏

演奏 歴史唄物語 「加納傘物語ー傘屋金右衛門」

出演 長沢由彦氏

解説 藪下 浩氏

シンポジウム「岐阜和傘の未来を考える」

コーディネーター NPO法人ナガラビト理事長 藪下 浩氏

パネラー 岐阜和傘協会代表理事 平野明博氏

前岐阜市歴史博物館館長 大塚清史氏

喬木村地域おこし協力隊 小林旅人氏

NPO法人ORGAN 河口郁美氏

骨師 前田健吾氏

定員 150名

入場料金 無料

参加方法 希望者は葉書、インターネットから氏名・住所・電話番号を明記して申し込み。

宛先 〒500-8076 岐阜市司町40-5

岐阜市まちづくりサポートセンター

E-mail gifushi\_machisapo@yahoo.co.jp

募集締め切り 令和6年11月20日(水)

問合せ先 岐阜市まちづくりサポートセンター

電話 058-264-0011(呼び出し)

担当 藪下、中村